

令和元年度 起業家を招いた授業実践事例

実践事例1 小学校第6学年「総合的な学習の時間」

単元名：未来予想～わたしたちの仕事～

授業の様子



令和2年1月24日（金）、板橋区立加賀小学校で、板橋区成増に本社がある、株式会社Nextremer（ネクストリーマー）代表取締役会長 向井 永浩 様を講師としてお招きした授業を行いました。

池袋駅に設置されているAI対話システムのデモンストレーションでは、早口だったりなまりがあったりしても正確に音声認識する様子を目の当たりにして、児童たちは興味津々の様子でした。

講演の中で触れられた、講師の方が起業するまでの御経験から、学生時代から好きだったことを続けること、多様な人の個性を生かしていくことの大切さを学ぶことができました。

また、既存のプログラムと、AIを活用したプログラムとの違いを、具体的な事例やスライド資料を通して、丁寧に説明してくださいました。

アントレプレナーシップ教育を位置付けたねらい

チャレンジ精神

情報収集・分析力

プレゼンテーション能力

単元全体の学習内容

- 今ある職業や、この先10年でAIが代替するようになるといわれる職業について調べる。
- 起業に関すること、起業家の方の職業に関することの疑問点をまとめ、次時の質疑内容を検討する。
- 起業家の方を招いて、講演を聞く。
- 地域の特性を生かした新商品の企画書を作り、プレゼンテーション大会を開く。
- 活動の振り返りをする。
- 地域の方や保護者の方から、仕事についての話を聞く。
- 興味をもった職業について、仕事の内容、仕事に必要な資格や免許、仕事の役割や意義などを新聞にまとめ、交流する。

令和元年度 起業家を招いた授業実践事例

実践事例2 中学校第1学年「総合的な学習の時間」

単元名：目的意識をもって川越の歴史文化を学習する

授業の様子



令和2年2月13日（木）、板橋区立上板橋第三中学校で、板橋区前野町に本社がある、株式会社プロネートの代表取締役会長 狩野 征次 様を講師としてお招きした授業を行いました。

自分が体験してきたことを人に伝えるポイントとして、「インターネットだけでなく、自らの足で歩いて、自分自身で見て触れて、五感と心で感じ取る」ことの重要性を学ぶことができました。

また、起業して会社を経営していく上で大切なこととして、「現状に甘んじない」「一人の力ではなく、みんなの支えが必要」ということを学びました。

本業の印刷以外にもイベントの企画など、幅広い分野に積極的に挑戦し続ける講師の先生から、エネルギーをもらえた講演でした。

アントレプレナーシップ教育を位置付けたねらい

プレゼンテーション
能力

創造力

探究心

単元全体の学習内容

- 校外学習事前学習（ねらいの確認・テーマ設定・コース決め・役割分担など）
- 校外学習で川越に行き、班ごとに設定したテーマに沿って、川越の魅力について探究する。
- アンケート・作文・事後学習の流れの確認をして、ポスターのレイアウトを考える。
- 「自分づくりの旅へ」を活用して、アントレプレナーシップについて理解を深める。
- 講演後の質疑内容を検討する。
- 起業家の方を招いて、講演を聞く。
- 講演でのアドバイスを生かしながら、川越の魅力が伝わるポスターづくりを進める。
- 学級で発表会を行い、代表を選出する。
- 学年発表会を実施する。